発行：平塚市防災危機管理部災害対策課
年月：平成31年（2019年）3月

平塚市

金目川水系版

洪水ハザードマップ

このマップは、神奈川県が平成30年1月26日に指定した金目川水系金目川、河内川、鈴川、板戸川、渋田川、歌川、大根川、善波川、座禅川の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）を基に作成しています。**想定される最大規模の降雨（金目川流域：24時間総雨量396mm）**によって金目川水系の河川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域（洪水浸水想定区域）と、その浸水深の最大値を表示しています。なお、マップに示した浸水区域以外でも、状況によっては浸水することもありますので、ご注意ください。

知っておこう水害リスク！考えよう避難行動！

自宅の水害リスク

浸水深	□0.5m未満 □0.5m以上～3.0m未満 □3.0m以上～5.0m未満 □5.0m以上
家屋倒壊等氾濫想定区域	□氾濫流の想定区域内 □河岸浸食の想定区域内 □想定区域外
浸水継続時間	□12時間未満 □12時間以上～1日未満 □1日以上～3日未満 □3日以上～1週間未満

避難の方法

【避難の判断】を参考にして、避難の方法を確認しましょう。

避難の方法 □屋内安全確保 □立ち退き避難（水平避難） □屋内安全確保（垂直避難）＿＿階に避難

指定緊急避難場所

【指定緊急避難場所（洪水）】から、指定緊急避難場所を確認しましょう。また、自宅から指定緊急避難場所までの経路や時間を実際に歩いて確認しましょう。

指定緊急避難場所		自宅～指定緊急避難場所までの時間

【メモ】家族の連絡先や、避難時の持出品等について記入しておきましょう。

指定緊急避難場所（洪水）

避難対象区域は、浸水が想定されている区域を記載しています。地図上で、赤字で掲載されている施設が金目川水系の河川が氾濫した場合の指定緊急避難場所（洪水）となります。

指定緊急避難場所	住所	浸水深	避難対象区域
港小学校	夕陽ケ丘22-1	0.0m	夕陽ケ丘
花水小学校	龍城ケ丘5-62	0.0m	龍城ケ丘・虹ケ浜の一部・豊平
浜岳中学校	龍城ケ丘4-26	0.0m	桃浜町・八重咲町・松風町・黒部丘の一部
平塚工科高校	黒部丘12-7	0.0m	黒部丘の一部
なでしこ小学校	花水台42-1	0.0m	虹ケ浜の一部・花水台・旗子原
大磯高校	大磯町東町2-9-1	1.9m	唐ケ原
富士見小学校	中里10-1	0.8m	豊原町の一部・平塚１丁目・平塚２丁目・平塚３丁目の一部・平塚４丁目の一部・中里の一部
春日野中学校	中里33-1	1.5m	平塚３丁目の一部・平塚４丁目の一部・平塚５丁目
平塚商業高校	中里50-1	2.9m	中里の一部・桜ケ丘
平塚農業高校	遠上ケ丘10-10	0.0m	上平窪・中里の一部・遠上ケ丘
平塚江南高校	諏訪町5-1	0.0m	富士見町・諏訪町・豊原町の一部
崇善小学校	浅間町4-3	0.0m	浅間町の一部・追分・立野町・見附町・錦町
江陽中学校	浅間町8-1	0.0m	明石町・紅谷町・宝町・宮の前・宮松町・浅間町の一部
松原小学校	天沼７-10	0.2m	老松町・八千代町・天沼・中堂・馬入本町・馬入（相模川右岸）・長瀞・逗司・榎木町
大野小学校	東真土2-1-1	0.0m	四之宮6丁目・東真土2丁目の一部
真土小学校	西真土4-3-1	1.1m	東真土2丁目の一部・東真土３丁目・東真土４丁目・西真土２丁目・西真土３丁目・西真土４丁目
松が丘小学校	東中原１-12-2	0.0m	東中原１丁目・東中原２丁目
大野中学校	東中原１-12-1	0.3m	中原３丁目の一部
中原小学校	御殿２-8-9	0.0m	御殿１丁目の一部・御殿３丁目の一部・中原１丁目の一部・中原３丁目の一部
平塚中等教育学校	大原１-13	0.8m	御殿１丁目の一部・御殿３丁目の一部・中原１丁目の一部・中原３丁目の一部
大原小学校	大原１-14	0.0m	大原
中原中学校	御殿４-5-1	1.9m	御殿４丁目
南原小学校	南原１-11-31	2.1m	南原１丁目・南原２丁目・南原３丁目
神田中学校	田村４-31-1	0.0m	西原・大神・田村３丁目の一部・田村４丁目
神田小学校	田村６-1-1	0.0m	田村５丁目・四之宮７丁目
平塚湘風高校	田村３-13-1	0.0m	田村１丁目・田村２丁目・田村３丁目の一部
横内中学校	横内１948-3	0.1m	横内の一部
横内小学校	横内2687	0.5m	横内の一部
城島小学校	小鍋島608-3	0.1m	大島・小鍋島・下島
大住中学校	諸所649	0.4m	諸所・豊田本郷（鈴川左岸）・北豊田の一部
豊田小学校	豊田宮下552	1.7m	豊田平等寺（鈴川左岸）・豊田打間木・豊田小猿・豊田宮下（鈴川左岸）・豊田本郷（鈴川左岸）・南豊田・東豊田・北豊田の一部
岡崎小学校	岡崎3430	0.0m	岡崎（鈴川左岸）
金目小学校	入野514	1.8m	入野（金目川左岸）・長持（金目川左岸）・南原４丁目・寺田縄・飯島・中原下宿・豊田本郷（鈴川右岸）・豊田宮下（鈴川右岸）・豊田平等寺（鈴川右岸）・岡崎（鈴川右岸）
旭陵中学校	日向岡２-9-1	0.0m	公所
旭小学校	河内307	0.4m	根坂間（河内川右岸）・河内（河内川右岸）
松延小学校	縫226	0.2m	河内（河内川左岸）・徳延・縫・山下の一部・根坂間（河内川左岸）・長持（金目川右岸）
勝原小学校	高村45	0.0m	万田の一部・高村の一部
山城中学校	高村166	0.0m	山下の一部・万田の一部・高村の一部
山下小学校	山下801-3	1.3m	高根・山下の一部
金目中学校	南金目907	1.2m	南金目（金目川左岸）・片岡（金目川左岸）
金旭中学校	広川12	2.1m	広川の一部・片岡（金目川右岸）・南金目（金目川右岸）・入野（金目川右岸）・入部
みずほ小学校	北金目2-39-1	2.8m	北金目１丁目・北金目２丁目・北金目３丁目・南金目（金目川左岸）
東海大学	北金目４-1-1	0.0m	南金目（金目川左岸）・真田・真田１丁目・真田２丁目・真田３丁目・真田４丁目
金目中学校	南金目1013-2	1.2m	片岡（金目川左岸）・南金目（金目川左岸）
土屋小学校	土屋3004-2	0.0m	土屋
土沢中学校	土屋2244	0.0m	土屋
子ども自立生活支援センター（きらり）	片岡991-1	0.0m	南金目（金目川右岸）・広川の一部

※掲載している浸水深は、指定緊急避難場所の建物にかかる想定最大値を表示しています。

「家屋倒壊等氾濫想定区域」とは？

「想定し得る最大規模の降雨」により、付近の堤防が決壊等した場合に、一般的な建築物が倒壊・流出する等の危険性が高い区域を示すものです。この区域では、屋内安全確保（垂直避難）ではなく、指定緊急避難場所等へ早期の立ち退き避難（水平避難）の必要性を判断することが求められます。「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、氾濫流によるものと河岸侵食によるものとがあります。

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

洪水氾濫流により、木造家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

洪水時の河岸侵食により、家屋が流失・倒壊するおそれがある範囲

情報の入手先

市では、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて防災・災害情報、気象情報を発信しています。積極的に情報を入手し、「早めの避難」「落ち着いた行動」を心がけましょう。

●平塚市ウェブサイト

平塚市　災害対策課　検索
平塚市の防災・災害対策についてお知らせしています。

ひらつか防災気象ウェブ　検索
「ライブカメラ」等で河川の状況が確認できます。

●ほっとメールひらつか

ほっとメールひらつか　検索
平塚市地震風水害情報をパソコンや携帯電話に電子メールで配信します。（要登録）

●twitter（平塚市防災危機管理部）

twitter　平塚防災　検索
【アカウント】
@HiratsukaBosai
災害時の情報発信の ほか、平塚市の危機管理に関する情報を発信します。

●ひらつかわくわくマップ

ひらつかわくわくマップ　検索
平塚市が保有する情報を市民の皆さんへ提供するサービスです。各種ハザードマップの情報や、洪水の浸水到達時間等が確認できます。

●ラジオ・テレビ放送

FM湘南ナパサ（周波数78.3MHz）や湘南ケーブルネットワーク（SCN）を通じて防災番組や災害時の緊急放送・文字情報でも情報提供を行います。

●防災行政用無線

屋外にあるスピーカーから、避難に関する情報などをお知らせするものです。

●テレフォンガイド（利用には通話料がかかります。）

1時間以内に限り、防災行政用無線で放送した内容を確認することができます。

0180-99-4956 / 0463-22-4956

●国・県の提供する情報

気象庁　検索
天気予報や気象の警報・注意報、台風情報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報などの災害情報を配信します。

国土交通省　京浜河川事務所　検索
所管する相模川・多摩川・鶴見川などの情報を配信します。

国土交通省　川の防災情報　検索
雨量や川の水位など、さまざまな防災情報を配信します。

神奈川県　雨量水位情報　検索
神奈川県内の雨量水位の情報を配信します。

要配慮者への支援

突然の災害に見舞われたとき、避難行動や言葉の理解などで大きなハンデを負うのは、高齢者や子ども、障がい者、傷病者、外国人などの要配慮者です。日ごろからコミュニケーションをとりあって、災害時には積極的に声をかけあい、相手に適した誘導方法で早めの避難ができるよう、協力しましょう。

耳の不自由な方
相手の近くで、ゆっくり顔を向け、口をゆっくり動かして話しましょう。筆談や、身振り手振りで情報を伝えましょう。

目の不自由な方
杖を持っていない側にまわり、腕を貸してゆっくり歩きましょう。盲導犬には ふれないようにしましょう。

高齢者
高齢で体が不自由な方には、腕を貸すか、ロープなどを使い、背負うなどして避難しましょう。その際には、複数の人で協力しましょう。

外国人
日本語でたいいのでをかけたり、身振り手振りで伝え、孤立させないようにしましょう。

妊婦・乳幼児
妊婦や乳幼児の体調に気を配りましょう。状況に応じて腕を貸すなど必要な支援をしましょう。

車いす利用者
坂道を上がるときは前向きで、降りるときは後ろ向きで避難しましょう。階段をのぼり降りする場合は、可能な限り３人以上で協力するようにしましょう。

避難するときの注意点

日ごろからいざというときのことを考えておきましょう。そして、災害時には慌てず落ち着いた行動をとることができるよう避難するときに気をつけるべきことを覚えておきましょう。

基本は徒歩
浸水深が30cm以上では車の走行が困難になるため、できるだけ徒歩で避難しましょう。しかし、大雨など徒歩で避難するのが危険な場合は車での避難を検討しましょう。

靴は運動靴
サンダルや長靴ではなく、ひもでしっかり締められる運動靴をはきましょう。長靴は、中に水が入ると重くなって動きにくくなります。

足元に注意
足元が見えにくい場合は、はずれたマンホールや側溝等に落ちないよう、棒や杖等で確認しながら歩きましょう。

動きやすい格好、複数人での避難
避難するときは、動きやすい格好で、近所で声をかけ合い、複数人で避難しましょう。

危険な場所を避けて
河川敷や橋、用水路等、水が多ふれやすい場所や地盤の緩みなどにより、がけ崩れが起こりやすい場所を避けて避難しましょう。

水深に気をつけよう
浸水深が50cm程度あると大人でも歩くことが困難です。外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の上階に避難しましょう。

非常持出品・家庭内備蓄品の準備
災害の備えとして食料、飲料水、生活必需品などは、自分自身で用意することが原則です。避難時に最優先で持ち出す「非常持出品」をリュックサックなどに入れ、すぐに持ち出せる場所に準備しておきましょう。また、自宅で避難生活を送ることになった場合に備えて、浸水の影響が少ない上階などに、「家庭内備蓄品」を準備しましょう。日常的に必要となるもの（常備薬・医療器具等）も備えておきましょう。（1人あたり7日分程度）

発令される避難情報

市は災害が発生し、又は発生するおそれのある場合など、市民の皆さんに危険が迫ったときは、避難情報を発令します。発令される避難情報の内容を十分に理解し、ご自身（ご家族）の避難行動をあらかじめ考えておき、いざというときに正しい避難行動をとれるようにしましょう。

1 避難準備・高齢者等避難開始
- 避難に時間がかかる要配慮者（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の方は避難の準備を整えるとともに、今後の防災気象情報、水位情報等に注意を払いましょう。

2 避難勧告
- 速やかに指定緊急避難場所へ避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内の上階など、より安全な場所に避難しましょう。

3 避難指示（緊急）
- 既に災害が発生している、又は発生してもおかしくない極めて危険な状況となっているため、直ちに命を守る行動をとりましょう。
- まだ避難していない人は直ちに指定緊急避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内の上階など、より安全な場所に避難しましょう。

マイ・タイムラインを作ってみよう！

「いつ」「だれが」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画（マイ・タイムライン）を作ってみよう！

例）気象情報の収集をする、避難先、持出品の再確認をする。

避難準備・高齢者等避難開始

例）避難の準備を始める、／祖父・祖母をつれて●●へ避難する。

避難勧告

例）速やかに●●に避難する。自宅の●階に垂直避難する。

point! 最初の情報として避難勧告を知ったときの行動も考えておこう！

避難指示（緊急）

例）避難を完了させる。情報収集を継続して行う。

point! 最初の情報として避難指示（緊急）を知ったときの行動も考えておこう！

氾濫発生

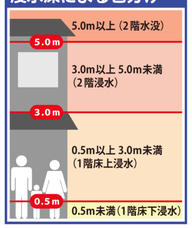
（時間の経過とともに状況が変化）

早期立ち退き避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域
- 氾濫流による区域
- 河岸浸食による区域

長期間浸水する区域
- 3日以上浸水する区域

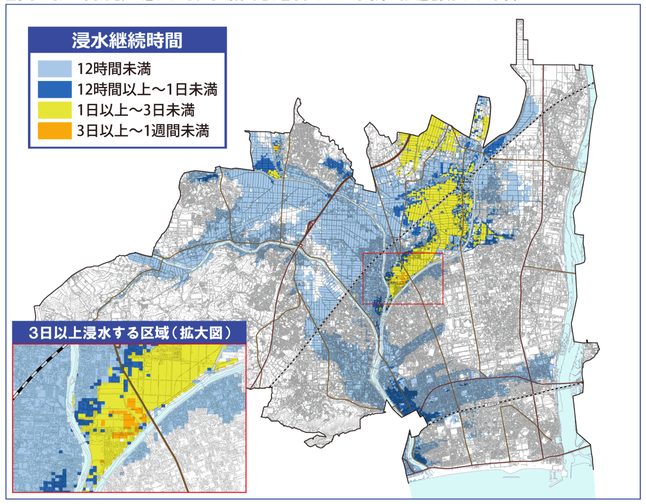
浸水深による色分け



凡例
- 指定緊急避難場所（洪水）
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署・出張所
- 救急病院　● 公民館
- 緊急時危険箇所（地下道）
- 国道　県道　市境

浸水継続時間

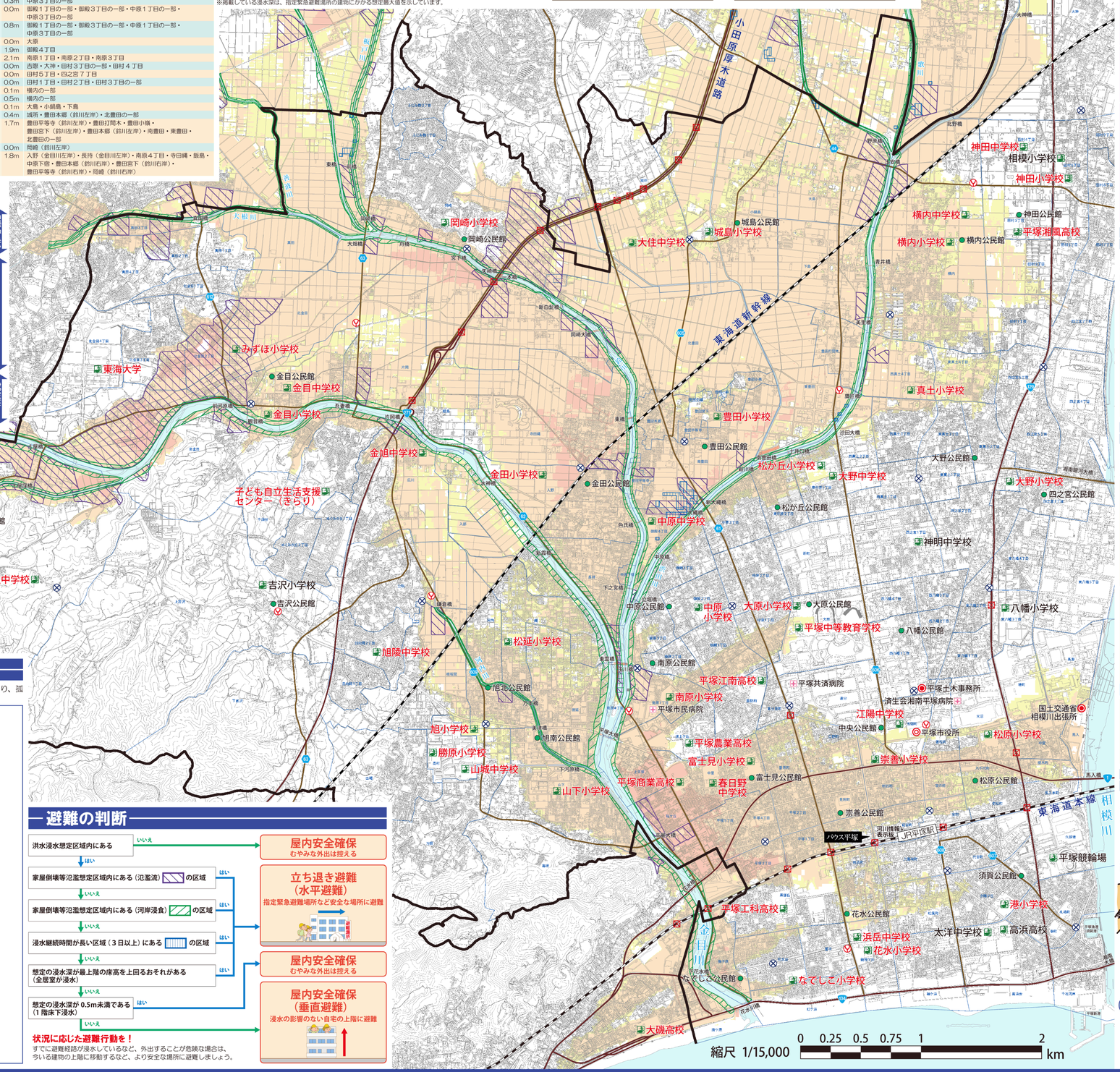
このマップは、想定される降雨によって、金目川水系の河川が氾濫した場合に、浸水深50cm以上（屋外への避難が困難となり、孤立するおそれのある深さ）に達してから、その浸水深を下回るまでにかかる時間の最大値を表示しています。



避難の判断

状況に応じた避難行動を！

すでに避難経路が浸水しているなど、外出することが危険な場合は、今いる建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難しましょう。



連絡手段

災害時は電話がつながりにくくなります。災害時の連絡方法として「誰に連絡をするか」「どのような連絡方法があるか」など、家族みんなで確認をしておきましょう。

登録 災害用伝言ダイヤル「171」/ web「171」

NTTでは、災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況の際に、電話やインターネットを利用して被災地の方の安否確認を行う伝言板を提供します。

伝言の登録方法
171にダイヤル
「１」をダイヤル
（市外局番）＋電話番号
伝言を録音
web171.jpにアクセス
電話番号を入力
登録ボタン
名前/安否/伝言を登録

伝言の確認方法
171にダイヤル
「２」をダイヤル
（市外局番）＋電話番号
伝言の再生
web171.jpにアクセス
電話番号を入力
確認ボタン
伝言内容の確認

登録 災害用伝言板

災害時に各携帯電話会社が「災害用伝言板」を緊急開設します。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録や確認をすることができます。

確認 J-anpi（ジェイ安否）

電話番号または氏名で、災害用伝言板、報道機関、企業団体が提供する安否情報を一括検索することができます。